

高齢者の生きがいとコミュニティづくり事業

取組に至る背景・事業の目的

高齢化が今後さらに進むと予測される中、高齢者のみなさんが生きぬいてきた時代背景を考えると不自由や不合理であった青年時代を歩んでこられたと考えられる。

本事業では、人口が減少し、超高齢化社会に進むと予測される中、元気な高齢者の方には、楽しみの提供と共に、豊富な経験を生かした子育て支援や自身の予防にもなる介護予防・支援の方法を学び、地域に生かせるような機会をつくったり、上田市街地を中心に独居世帯の高齢者の方には居場所づくりや茶飲み友だちづくりの場の提供を行う。

大正時代から上田市内で映画を始めとした娯楽を提供し続けている上田映劇を活用し、高齢者の方々の多くが見たであろう昭和の映画を提供することで、古き良き時代、懐かしい時代を思い出してもらいながら、合わせて、介護職に就く若い職員や若者世代と一緒に映画を見てもらうことにより、映画の話題を媒介としたコミュニケーションを生み出し、異世代との交流も図っていく。

また、商店街との連携した取組として高齢者向けサービスを提供していただくことにより、中心市街地をステージとした異世代にも波及するような高齢者のコミュニティづくりを行う。

事業内容

大正時代に建てられた上田映劇で昭和の名画の上映を8回開催、中心市街地の空き店舗を利用した異世代交流広場などの広場の開設、子育て支援、伝承あそびなどの講座の実施、街中どこでもカラオケなどのサロンの開設などを行った。また、中心市街地の飲食店とも連携し、協力いただける店舗で昭和の復刻ランチの提供などをしていただいた。



【上田映劇での様子】

事業効果

当初想定では、延べ2,000人の参加を予定していたが、予想を上回る延べ4,000人以上の方に参加していただいた。アンケート調査により、特に独居、高齢者夫婦世帯の方に参加していただいたことが分かった。上田映劇での上映会は娯楽としての映画鑑賞だけにとどまらず、近くの席の方との交流や、昼食を一緒に食べる友人づくりの場となった。広場では、高齢者と子育て世代が交流する場を作ることができた。講座では、講座に参加した人がその後、実際に現場に出て有償ボランティアとして活動することにつながった。また、中心商店街で開催したことにより、昼食に街に出かけることにつながり、街のにぎわいの創出につながった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

映画の上映の再開を楽しみに待っていてくださり、200人以上の方が連絡先を残してくださっている。また、子育て支援者養成講座等の一部の講座では、事業終了後も講座に対して問合せがある。次年度以降は、継続した事業として取り組むために、再度、元気づくり支援金に応募し、上映会などは実費を頂きながら継続できるように進めていく予定である。また、事業途中には、上田市長への活動報告を行い、事業終了後には、担当課との情報交換なども行うことができたため、上田市とも連携して次年度以降の事業を行えると見込んでいる。

【選定のポイント】

高齢者を対象としたイベントに多くの参加者があり、高齢者のコミュニティづくりと中心市街地のにぎわいの創出という目的を達成できた。

平成25年度も引き続き支援金を活用し、発展的に活動を行っている。

団体名	まごの手プロジェクト（上田市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	090-3093-6015（斉藤恵理子）	事業費	4,833,008円
		支援金額	4,830,000円